

2011年6月29日(水)
平成23年度 国公立大学附属病院医療安全セミナー

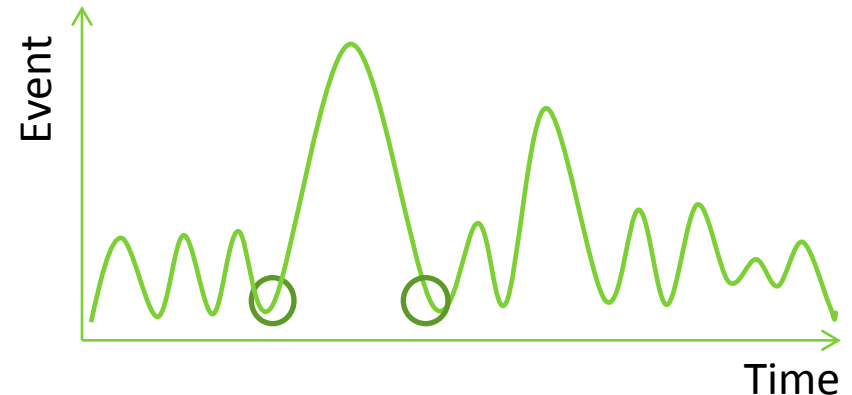


ハンテクニカルスキルの教材開発 ～ブリーフィングとディブリーフィング～

大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部
高橋りょう子

医療チームの背景

- 時間的プレッシャー
- 結果が“人命”にかかわる
- 複雑なシステム
- 複雑なタスク
- マルチタスキング
- 不確実な情報に基づく意思決定
- 経験レベルの異なる多職種の協働
- チームの顔ぶれが一定でない



チームが望ましいパフォーマンスをするためには？

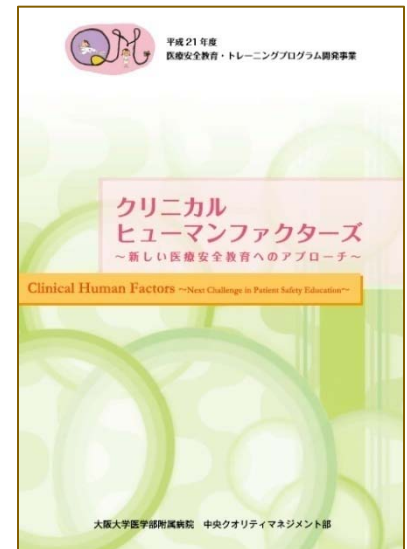
医療安全とノンテクニカルスキル

ビデオ“Just a Routine Operation”

論文“Have you ever made a mistake?”

- マーティン・ブロミリー氏
 - 旅客機パイロット
 - 医療事故で妻を亡くす
 - NHSとビデオを作成
 - 医療へヒューマンファクターズアプローチや、
ノンテクニカルスキルトレーニングの導入を
提言
 - クリニカルヒューマンファクターズグループ
(CHFG)創始者

www.chfg.org



ノンテクニカルスキル

- テクニカルスキル
 - 臨床を実践するための知識や技能
 - ＝仕事をするためのスキル
- ノンテクニカルスキル
 - テクニカルスキルを補完する
 - 認知スキル、社会スキル、個人リソースに関するスキル
 - ＝安全を守るためのスキル

Flin, Mitchel, "Safer Surgery: Analysing Behaviour in the Operating Theatre", Ashgate, 2009
Bromiley, "Have you ever made a mistake?"

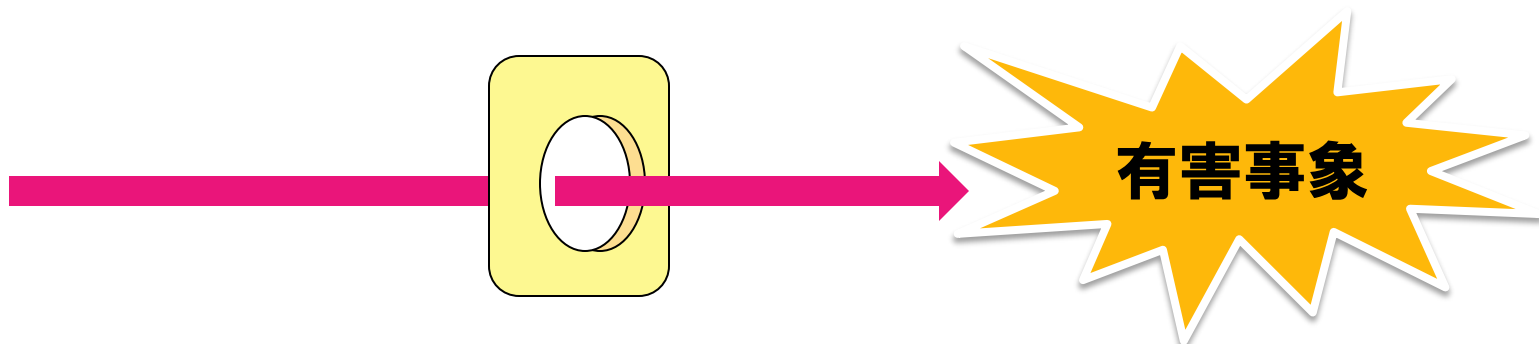
Bulletin of the Royal College of Anaesthetists, 2008

ノンテクニカルスキル

- situation awareness 状況認識
- decision-making 意思決定
- communication コミュニケーション
- teamwork チームワーク
- leadership リーダーシップ
- personal limitation management 個人の限界の管理

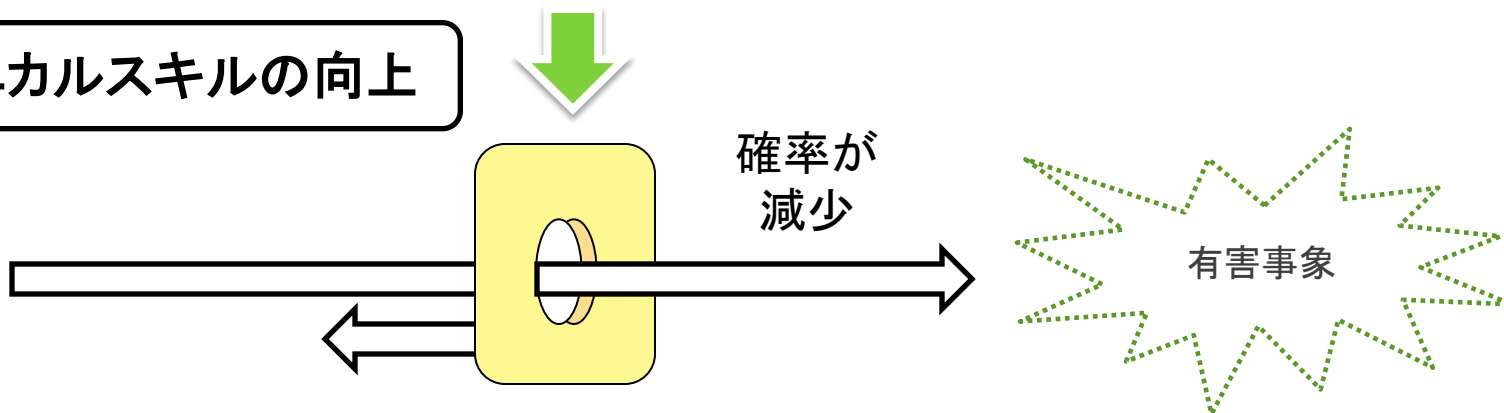
ハンテクニカルスキル

状況認識	周囲環境を知覚、意味を理解、“この先”を予測
意思決定	状況を評価、判断や選択、行動、行動後の評価
コミュニケーション	伝える⇔聞く
チームワーク	お互いを支援、意見の相違の解決、情報交換⇒協調
リーダーシップ	意思主張、スタンドアードの維持、負荷を分散⇒コーディネーター
個人の限界の管理	ストレス・疲労時の特性、その把握



自分/自分以外のエラーに気づかない

ハンテクニカルスキルの向上



自分/自分以外のエラーに気づく
エラーの回避、エラーの影響の低減

臨床チーム全体のパフォーマンス向上へ

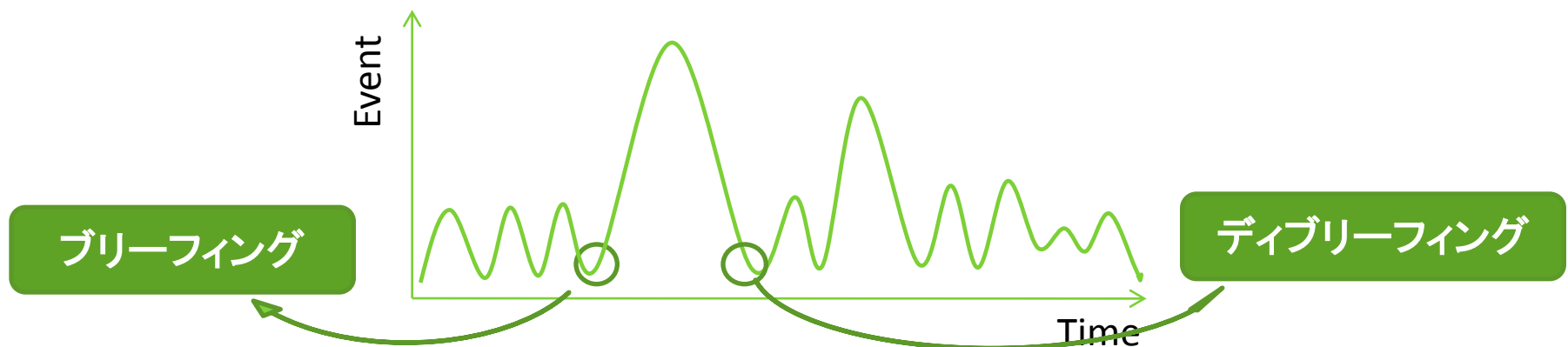
ブリーフィングとディブリーフィング

ブリーフィング

- 開始前
 - 事前確認
 - “チーム”スタート

ディブリーフィング

- 終了後
 - 振り返り
 - 次回に向けて



臨床に生かすためには
どのようにトレーニングすれば
よいのだろうか？



気管切開中の発火



医療安全教育トレーニングプログラム 開発事業

CASE.....

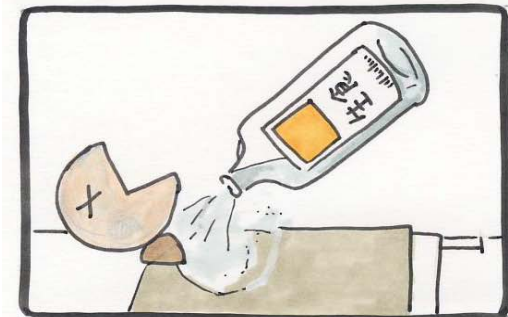
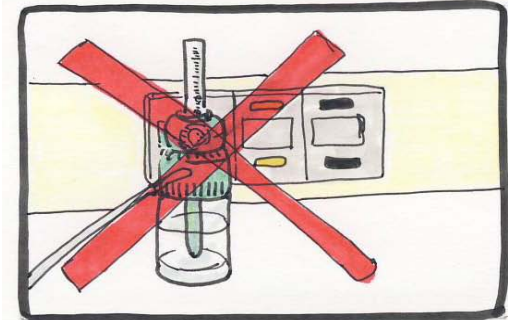
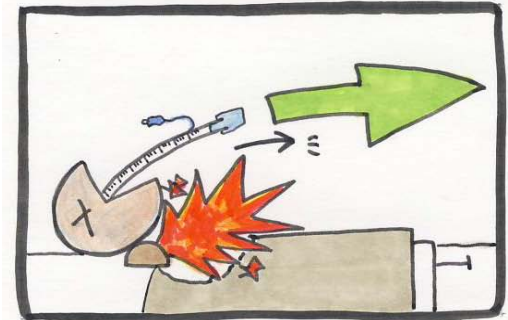


大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部

テクニカルスキル

- 発火時の対処
 - チューブを抜く
 - 酸素(ガス)を止める
 - 生理食塩水を気道に注ぐ
 - 消火が確認できたら換気を再開する

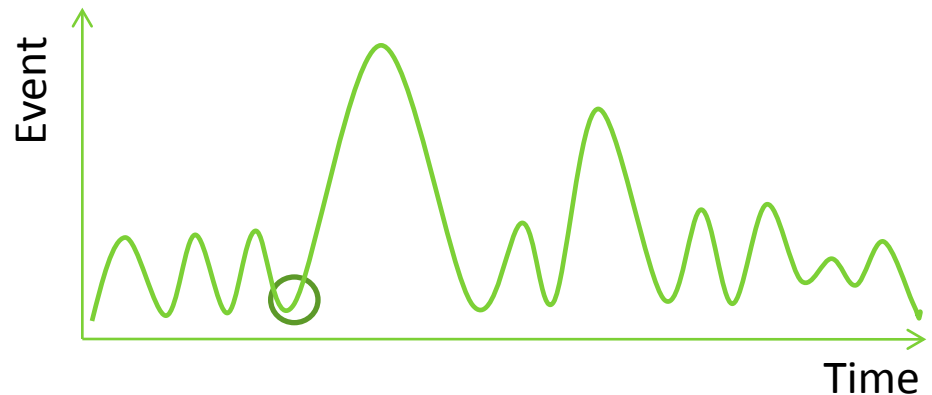
ECRI Institute, 2009



Illustrated by Tomo Ikejiri

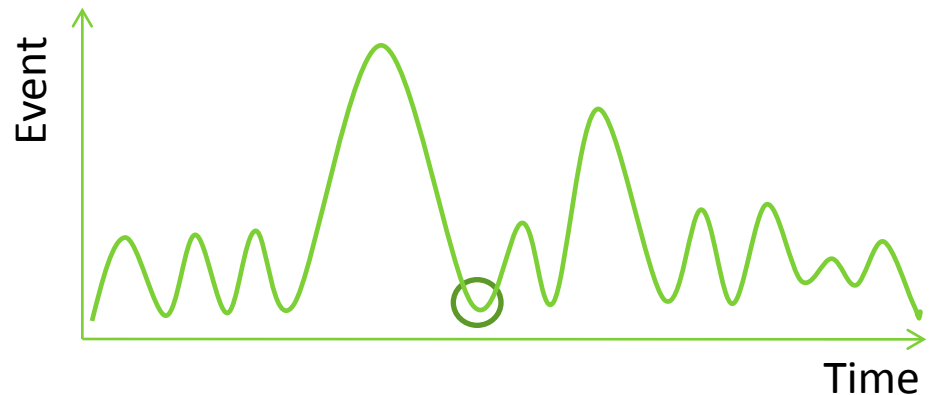
ブリーフィング

- 手順の確認
- 緊急事態発生時の対処の共有
- 役割分担
 - 共通の状況認識をつくる
 - コミュニケーションを始める



デブリーフィング

- チームで振り返る
 - 何がうまくいったか
 - 何がうまくいかなかったか
 - 次は、どうするか
 - 事実の確認
 - 考え方の“フレーム”への気づき
 - 次回のために



ディブリーフィング 12のTips

準備: 管理者

1. 組織のリーダーと現場のリーダーが、ディブリーフィングをチームワークの強みと弱みを診断するツールとして認識する
2. ディブリーフィングを行うために、組織全体で支援的な環境を作る
3. チームリーダーとメンバーが、現場でチームワークに注意を払うように奨励する
4. ディブリーフィングの方法やエビデンスについて、チームリーダーを教育する

Salas, Debriefing Medical Teams: 12 Evidence-Based Best Practices and Tips
The Joint Commission Journal on Quality and Patient Safety, 2008;34(9)

ディブリーフィング 12のTips

チームリーダー・メンバー(1)

5. ディブリーフィングの間、チームメンバーが気兼ねなく話せるようにする
6. ディブリーフィングでは、いくつかの特にクリティカルなパフォーマンスに焦点をあてる
7. チームのパフォーマンスに含まれているチームワークのプロセスをとりあげる
8. フィードバックを行う際には、具体的なパフォーマンスの例をあげる

ディブリーフィング 12のTips

チームリーダー・メンバー(2)

9. 結果に関するフィードバックは、プロセスに関するフィードバックよりも後に行い、頻繁には行わない
10. 個人とチームを対象としたフィードバックを、適切なタイミングで行う
11. 実際のパフォーマンスから、できるかぎり時間をおかずにフィードバックを行う
12. ディブリーフィングで出た結論と目標を記録しておき、次回のフィードバックに生かす

ノンテクニカルスキルの 実践・トレーニングのために

- プロトタイプから実践へ
 - ブリーフィング
 - 共通の状況認識をもって協働
 - 必要な場面、状況と内容
 - ディブリーフィング
 - チームのパフォーマンスからの気付き⇒次回へ
 - トレーニングでのディブリーフィング
 - 臨床でのディブリーフィング
 - ディブリーフィングのディブリーフィング？
- インストラクターの教育

